

JRSM シンポジウムアピール

2011年6月24日

東日本大震災に引き続く、福島第一原子力発電所事故に伴う原子力災害に対して、日本放射線安全管理学会は本シンポジウム開催にあたって、シンポジウムに参加された方々の賛同のもとに、国及び放射線安全管理に関わる諸機関に対して以下の共同行動と提案を呼びかける。

共同行動提案

1. モニタリングに関して
 - (ア) 放射線、放射能計測ネットワークの構築
 - (イ) 放射線、放射能測定の高品質管理のためのマニュアルの整備
 - (ウ) 空気、水、食物、スクラップ、工業製品等の放射能モニタリングの実施
 - (エ) 重要汚染核種とともに難測定核種も含めた測定体制の確立
2. 除染対策に関して
 - (ア) 除染対策の確立
 - (イ) 汚染の拡大防止方策の立案
 - (ウ) 汚染物の安全な保管管理方策の立案
 - (エ) 衣食住全ての生活環境での放射能汚染の低減化対策
3. リスクコミュニケーション
 - (ア) 綿密な調査、検討に基づき、様々な数値についての正しい情報発信に努める
 - (イ) 国民の被ばく線量の評価を進める

国への要望と提案

1. 科学的施策について
 - (ア) 関係学術団体との協力体制を構築する
 - (イ) 国土のみならず、海洋まで含めたモニタリング測定支援体制を確立する
 - (ウ) 国内外に対して情報の公開に努める
 - (エ) 予算設計、法令整備において省庁横断体制の確立に努める
2. 復興施策について
 - (ア) 住民の安全確保、将来の生活基盤回復に向けて年次計画を明らかにして、全力を挙げて復興に取り組む
 - (イ) 廃棄物管理、除染等も含めた様々な安全評価体制を確保
 - (ウ) 産業の復興に向けた、生産基盤における汚染防止対策を確立する
 - (エ) 住民の被ばく管理のための長期評価システムを構築する
3. 放射線安全規制体制を抜本的に見直し、再構築する